

拒絶理由通知書

期 限

16.10.18

特許出願の番号 特願2001-285676
起案日 平成16年 8月10日
特許庁審査官 橘 均憲 3045 5D00
特許出願人代理人 平木 祐輔 様
適用条文 第29条第2項

<<<< 最 後 >>>>

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項：1－5

引用文献：1－5

備考：

引用文献1－3は先の拒絶理由通知において提示した文献であり、先の拒絶理由通知を参照されたい。

引用文献4の明細書の【0028】－【0030】、図7、図8および引用文献5には、ノイズを2次元的に表現することが記載され、またスパイクノイズが特定の角度位置に集中的に発生していることが示されており、得られたノイズの存在状況からスパイクノイズが判別可能であることが示唆されている。

引用文献1－3において得られたノイズを引用文献4及び引用文献5に記載されたように表現し、そして得られたノイズの2次元分布からスパイクノイズの判別を行うことは当業者が容易に想到しうることである。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2001-155322号公報
2. 山崎弘郎, 電子回路のノイズ技術, 日本, 株式会社オーム社, 1986年
5月20日, 第1版第5刷, 41頁, 3・3・4 周期加算
3. 特開平10-241108号公報
4. 特開2001-209933号公報
5. Atsushi Kikukawa, Noise Characteristics of Double-Layered Perpendicular Media Using Fe-Ta-C Underlayer, IEEE TRANSACTIONS ON MAGNETICS, 米国
, IEEE, 2001年 7月, Vol. 37, No. 4, 1602-1604

最後の拒絶理由通知とする理由

1. 最初の拒絶理由通知に対する応答時の補正によって通知することが必要になった拒絶の理由のみを通知する拒絶理由通知である。

<問い合わせ先>

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせは下記にご連絡ください。

特許審査第四部情報記録

橘 均憲 03(3581)1101 ext. 3550